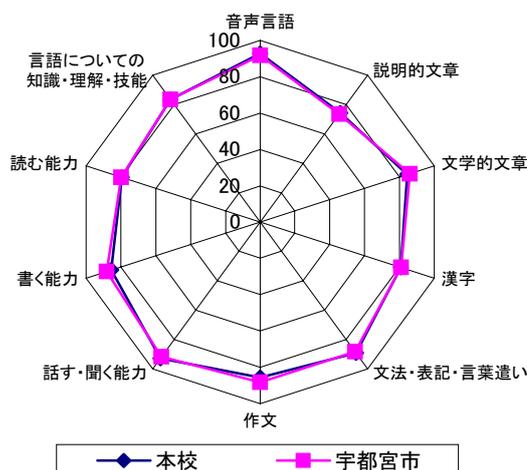


# 宇都宮市立旭中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	92.8	91.7
	説明的文章	74.3	73.5
	文学的文章	84.6	85.9
	漢字	80.7	81.0
	文法・表記・言葉遣い	89.0	88.2
	作文	85.7	88.2
観点別	話す・聞く能力	92.8	91.7
	書く能力	85.7	88.2
	読む能力	79.4	79.7
	言語についての知識・理解・技能	83.4	83.4



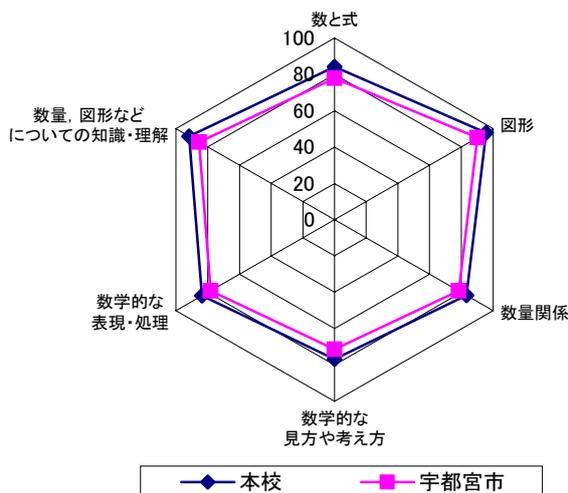
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (92.8%)	「話の趣旨の聞き取り」では宇都宮市と比べ2.5ポイント上回っていた。「全体と部分の聞き分け」では1.0ポイント下回っている。全体としては1.1ポイント上回っていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中でも「聞き取りテスト」を取り入れ、話の展開に即して内容を理解する練習の場とする。</li> <li>また、「スピーチしよう」などの単元では友人の話をメモを取りながら聞かせ、メモを取ることに慣れさせていく。</li> </ul>
説明的文章 (74.3%)	「文脈に即した内容の理解」の正答率は、宇都宮市と比べ、0.8ポイント上回っているが、ひとつの設定問で、大きく上回ったためである。ほかの設定問では1～3ポイントほど下回っていた。全体としては0.9ポイント上回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文では、筆者が何をどういう順に書いているか、を授業の中で押さえる。</li> <li>まずは、段落ごとの要点をとらえる練習をしていきたい。また、段落同士の話のつながりも理解させる。</li> </ul>
文学的文章 (84.6%)	「登場人物の心情」を問う問題では、宇都宮市と比べ、2.0ポイント上回っている。しかし、「語句の補充」では市の平均よりも5.4ポイントも下回っており、全体としては1.3ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動・動作を押さえながら、人物の心情を理解できるように指導していく。</li> <li>定期テストの解説では、代表的な誤答について、なぜその答えではだめなのか、にも触れていく。</li> </ul>
漢字 (80.7%)	「拒否」という熟語の書き取りでは、宇都宮市を8.4パーセント上回っているが、「電源」という熟語の書き取りでは宇都宮市を5.9パーセント下回っている。全体としては0.3パーセント、市の平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の小テストを行っていく際、間違えた字を練習させてから次に進むよう指導していく。</li> <li>短文作りなどを通して、新出漢字だけでなく、すでに習った字も書く機会を作っていく。</li> </ul>
文法・表記・言葉遣い (89.0%)	「漢字の部首」の問題では、宇都宮市と比べ、4.8ポイント上回っている。「文節の分け方」では市の平均よりも1.8ポイント下回っている。全体としては0.8ポイント上回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法の学習時のみでなく、いろいろな機会に、一文節で抜き出す、文節に分ける、などの作業を入れ、文を組み立てている文節の理解を促していく。</li> </ul>
作文 (85.7%)	「接続語を正しく使った短文づくり」では、宇都宮市と比べ、3.5ポイント下回っている。特に「無解答」の割合が市の平均よりも2.3ポイント多い。全体としては2.5ポイント下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、ある語句を使った短文作りなどの作業をもっと取り入れていく。</li> <li>作品の感想を書かせるなど、文を書く機会を増やし、作文への抵抗をなくしていく。</li> </ul>

# 宇都宮市立旭中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	84.2	77.9
	図形	95.6	90.2
	数量関係	83.2	78.5
観点別	数学的な見方や考え方	76.7	71.3
	数学的な表現・処理	83.6	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	91.7	85.3



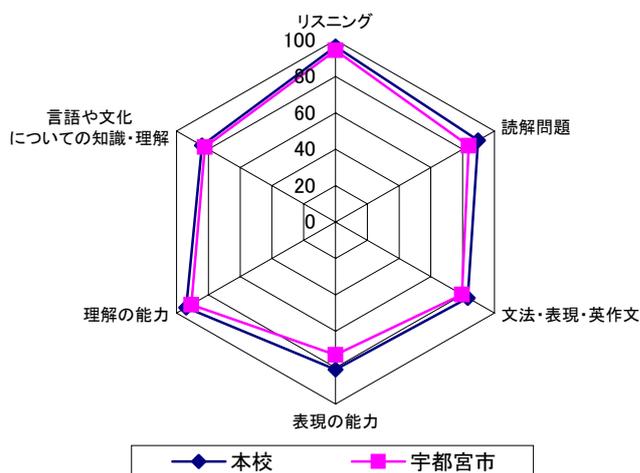
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (84.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市と本校を比較した場合、市を6.3ポイント上回っている。</li> <li>・ほとんどの問題が市を上回っている。</li> <li>・数の大小関係で躓きの傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題については、例題をよく理解させ、類似問題にたくさん挑戦させることにより、数学的な見方・考え方の力をつけさせていく。</li> </ul>
図形 (95.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市と本校を比較した場合、市を5.4ポイント上回っている。</li> <li>・すべての問題で市を上回っている。</li> <li>・点対称・線対称どちらの内容も定着がよく図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある具体的なものを例にとりながら、より理解を深めていけるよう指導していく。</li> </ul>
数量関係 (83.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市と本校を比較した場合、市を4.7ポイント上回っている。</li> <li>・すべての問題が市を上回っている。</li> <li>・比例・反比例では、グラフから式を見つける問題が、全体的に見て正答率が低い傾向である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフから、比例・反比例の特徴をしっかりと理解させ、式を見つけたり、グラフがスムーズにかけられるようにしていく。</li> <li>・様々な考え方を取り上げ、発展問題に利用する力をつけていく。</li> </ul>

# 宇都宮市立旭中学校第1学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	96.4	94.4
	読解問題	89.9	83.9
	文法・表現・英作文	83.3	79.7
観点別	表現の能力	81.1	73.0
	理解の能力	94.1	90.7
	言語や文化についての知識・理解	84.1	82.2



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (96.4%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を2.0ポイント上回っている。	・今後も授業中、生徒ができるだけ生の英語に触れられるよう、英語を多用する。 ・ある程度まとまりのある英文を聞いて、内容を理解する練習を普段の授業の中に積極的に取り入れ、答え合わせの際にはスクリプトを提示し、聞き取りにくかった箇所を確かめられるよう配慮する。
読解問題 (89.9%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を6.0ポイント上回っていた。特に、英問英答での正答率は市の平均を10ポイント以上上回る結果となった。	・今年度は毎時間、授業開始後の5～6分間を既習の基本表現を用いたQ&A(ペアでの対話練習)に帯学習的にあてた。それにより、既習の基本表現が定着し、正答率が上がったものと思われる。今後も継続していく。 ・教科書を離れた英文を取り上げる時間がほとんどなかったため、今後は積極的に取り上げ、英語で書かれた物語を読む楽しさを味わわせる。
文法・表現・英作文 (83.3%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を3.6ポイント上回っていた。唯一、大きく(40.0ポイント)下回った問題はI don't know that man.Do you know(him his her)?と代名詞を選ぶ問題であったが、これはこのテストの出題範囲であるUnit8の最後に扱われる文法事項であり、学習はしたものの、反復学習が不足しており定着が図られていなかったことを大きく表している。	・英作文問題では、市の平均よりは少ないものの、無記入の生徒が12.6%おり、3問中2問でそのパーセンテージが同じことから、同じ生徒が解答できていないことが考えられる。 ・今後も下位の生徒の書く力を少しでもつけさせる工夫として、センテンステストや語彙力アップのためのインプット活動をこまめに行っていく。